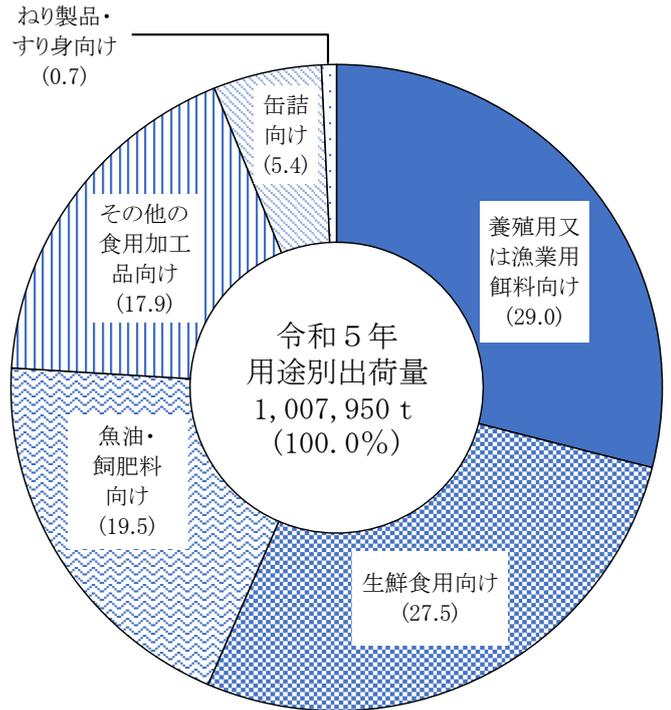


1 令和5年水産物の用途別出荷量の動向

令和5年の水産物の出荷量（32漁港・19品目）は100万7,950 t となった。

用途別にみると、養殖用又は漁業用餌料向けが29万2,099 t（出荷量割合29.0%）で最も割合が高く、次いで生鮮食用向けが27万6,974 t（同27.5%）となった。

図1 用途別出荷量割合（32漁港・19品目）



注：表示単位未満の数値を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ）。

表 用途別出荷量及び出荷量割合（32漁港・19品目）（出荷量の上位品目）

品目	計	生鮮食用向け	ねり製品・すり身向け	缶詰向け	その他の食用加工品向け	魚油・飼肥料向け	養殖用又は漁業用餌料向け
出荷量 (t)							
合計	1,007,950	276,974	7,500	54,196	180,489	196,692	292,099
生鮮品計	847,732	202,922	7,500	51,853	96,667	196,692	292,098
うちまいわし	467,262	65,940	2,232	12,613	12,973	192,919	180,585
さば類	174,597	20,083	2,865	37,327	20,609	1,684	92,029
まあじ	57,754	22,518	2,294	0	19,840	153	12,949
ぶり類	29,737	16,743	-	0	12,993	1	-
かつお	29,099	25,130	-	869	2,486	0	614
冷凍品計	160,218	74,052	-	2,343	83,822	-	1
うちかつお	121,485	42,170	-	-	79,315	-	-
きはだ	22,754	17,313	-	2,140	3,301	-	-
出荷量割合 (%)							
合計	100.0	27.5	0.7	5.4	17.9	19.5	29.0
生鮮品計	100.0	23.9	0.9	6.1	11.4	23.2	34.5
うちまいわし	100.0	14.1	0.5	2.7	2.8	41.3	38.6
さば類	100.0	11.5	1.6	21.4	11.8	1.0	52.7
まあじ	100.0	39.0	4.0	0.0	34.4	0.3	22.4
ぶり類	100.0	56.3	-	0.0	43.7	0.0	-
かつお	100.0	86.4	-	3.0	8.5	0.0	2.1
冷凍品計	100.0	46.2	-	1.5	52.3	-	0.0
うちかつお	100.0	34.7	-	-	65.3	-	-
きはだ	100.0	76.1	-	9.4	14.5	-	-

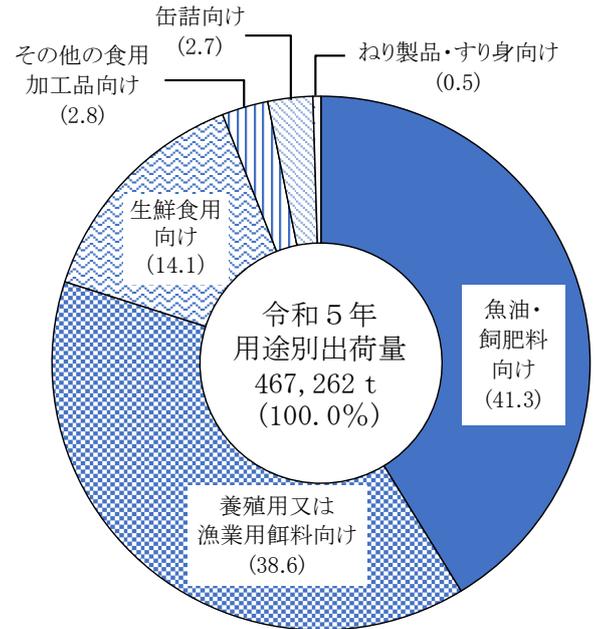
2 令和5年主要品目の動向（出荷量の上位品目）

(1) 生鮮品

ア まいわし

用途別にみた出荷量割合は、魚油・飼肥料向けが41.3%で最も高く、次いで養殖用又は漁業用餌料向けが38.6%となった。

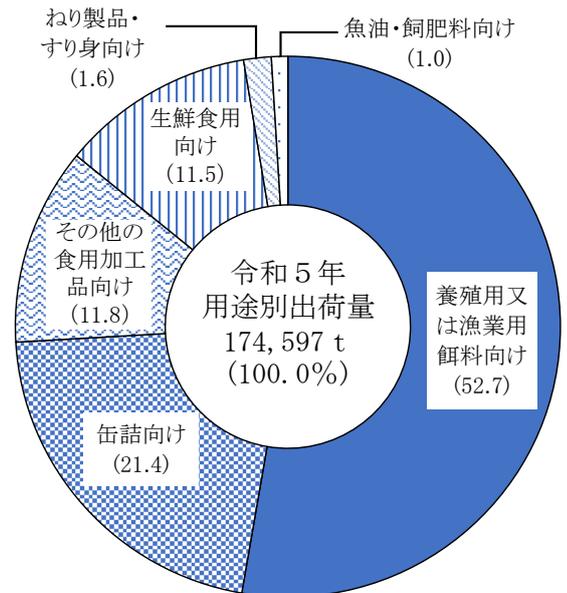
図2 まいわしの用途別出荷量割合



イ さば類

用途別にみた出荷量割合は、養殖用又は漁業用餌料向けが52.7%で最も高く、次いで缶詰向けが21.4%となった。

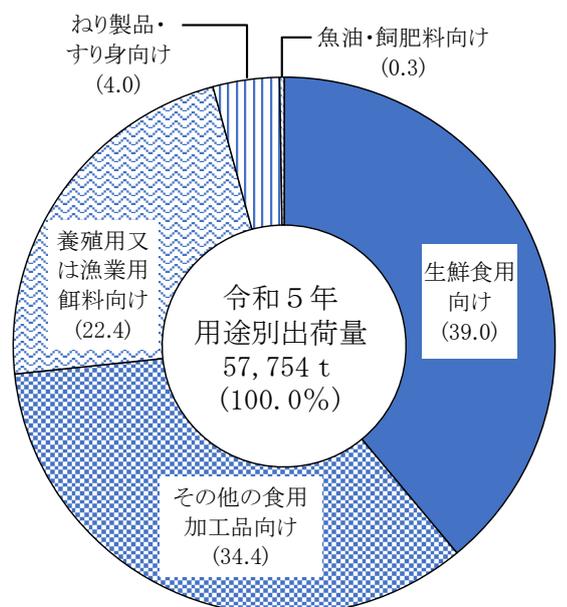
図3 さば類の用途別出荷量割合



ウ まあじ

用途別にみた出荷量割合は、生鮮食用向けが39.0%で最も高く、次いでその他の食用加工品向けが34.4%となった。

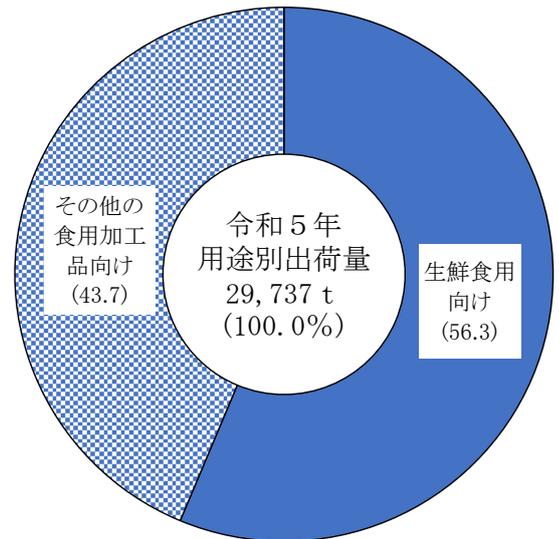
図4 まあじの用途別出荷量割合



エ ぶり類

用途別にみた出荷量割合は、生鮮食用向けが56.3%で最も高く、次いでその他の食用加工品向けが43.7%となった。

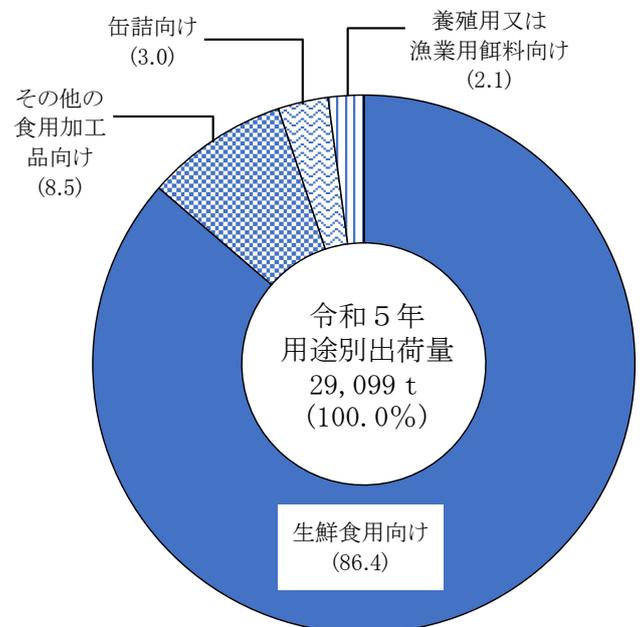
図5 ぶり類の用途別出荷量割合



オ かつお

用途別にみた出荷量割合は、生鮮食用向けが86.4%で最も高く、次いでその他の食用加工品向けが8.5%となった。

図6 かつおの用途別出荷量割合

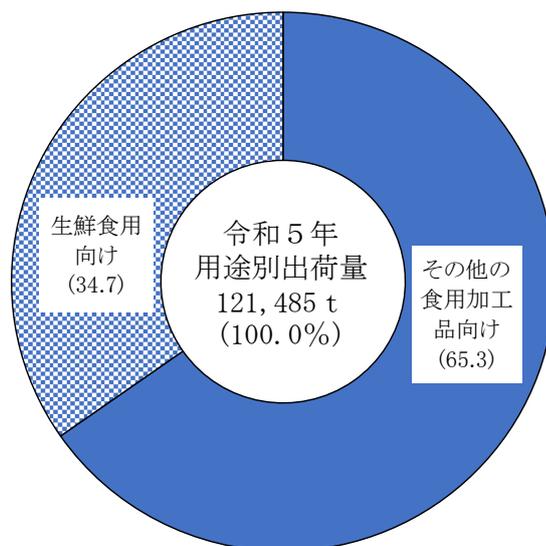


(2) 冷凍品

ア かつお

用途別にみた出荷量割合は、その他の食用加工品向けが65.3%で最も高く、次いで生鮮食用向けが34.7%となった。

図7 かつおの用途別出荷量割合



イ きはだ

用途別にみた出荷量割合は、生鮮食用向けが76.1%で最も高く、次いでその他の食用加工品向けが14.5%となった。

図8 きはだの用途別出荷量割合

